

社会福祉法人らっく

平成 27 年度 事業報告書

I はじめに

理事長 鈴木純恵

法人設立からの方針として、施設利用希望者を断らないでどなたでも受け入れてまいりました。毎年利用者が増加し、施設全体の利用率は 94% でした。利用者の皆様から頼られ、選んでいただける福祉サービス事業所として成長してきていると思います。またチャリティショップの寄付件数や顧客も増えていて地域に役に立つお店として認知されてきました。

障害者差別解消法が今年 4 月に施行されましたが、社会との障壁を無くすことで大切なことの一つは、社会で普通に働くことができることだと思います。平成 27 年度も 26 名の方が就労できました。障害特性をしっかりと見極め企業とのマッチングを行うなど、利用者一人一人に寄り添い丁寧に支援した結果だと考えます。また平成 21 年度から平成 27 年度までに、延べ 106 名の方が就労していきました。これは大きな成果だと思います。

利用者は、精神障害に特化していますが、その中でも様々な障害の方が利用されていて、特に広汎性発達障害の方が増える傾向にあります。高次脳機能障害や難病の方等、様々な障害をお持ちの方が利用していました。

相談支援事業では、約 200 名の方の利用計画を作成しました。福祉サービスだけではなく様々な社会資源を利用し、障害者が地域でより生活しやすくなるように支援しました。また外部機関と連携する中で、地域や他機関からも信頼される事業所として成長したと思います。

また、精神病院での長期入院が社会問題になっています。相模原市でも問題への取り組みが遅れています。相談支援事業では、昨年 12 月より長期入院患者の地域移行・地域定着事業を開始しました。

II 経営概況

施設全体の利用率が86%から94%に伸び、経営は安定しています。就労移行支援事業の利用者の増加が収入増につながっています。

利用者の満足度のアップが施設運営の基本です。そのため質の高い人材の確保に努め、支出の面では自立支援費収入に対する人件費比率が65%となっています。

自立支援費収入推移 (過去5年間) (円)

	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
自立支援費収入	173,699,243	149,727,458	114,757,913	107,616,023	89,108,914

事業活動収入※	190,992,563	165,738,432	131,119,738	126,558,327	109,292,846
事業活動支出※	156,336,039	133,079,282	119,629,316	110,259,578	92,843,956
うち人件費支出	113,273,716	96,906,092	88,831,874	78,817,468	63,126,282
収支差額	34,656,524	32,659,150	11,490,422	16,298,749	16,448,890

※ 平成26年度から、会計基準が変更されたことにより、「事業活動収入」及び「事業活動支出」に就労会計を含んでいます。

III 事業概要

通所部門では利用者が増加し、施設全体の利用率は94%で、特に就労移行支援事業は後期の利用率は約100%となりました。利用希望者を断らざるを得ないのではないかと心配しましたが、何とか新施設の開所まで断らずに受け入れることができました。

入居部門は、短期入所を設け、親の高齢化で介護力が低下する中で、親から独立して生活する体験の場として設置しました。しかし実際には虐待対応で、関係機関から緊急に要請を受けた利用者が長期間入居されるので、自立に向けた支援ができていませんでした。

1 障害福祉サービス事業

グループホームは「くれあ」の5戸が3月に開所し入居予定者の体験入居を開始しまし

た。

1) 多機能型事業所

① あみ

就労移行支援事業	定員 20 名
就労継続支援 B 型事業	定員 30 名
生活介護事業	定員 10 名

② くれあ

就労移行支援事業	定員 6 名
就労継続支援 B 型事業	定員 14 名

2) グループホーム（共同生活援助事業）

コーポさんふらわー	定員 11 名	（サテライト型 2 名含）
ホームくれあ	定員 5 名	

3) 短期入所事業 定員 1 名

4) 相談支援事業

2 多機能型事業所 あみ 利用者状況

1) 多機能型事業所あみ年度別利用者数推移（人）

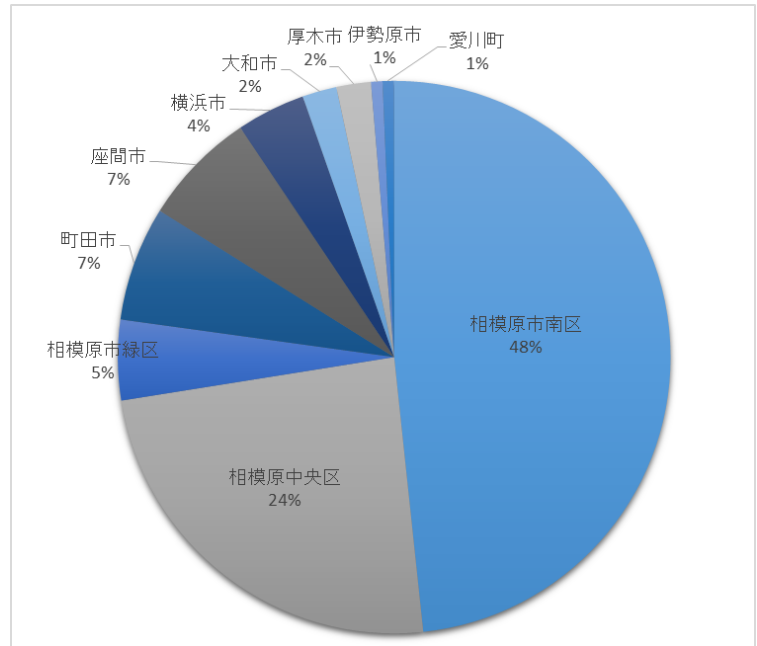


2) 入退所数及び利用率

施設全体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者数	1077	986	1260	1242	1155	1049	1127	1118	1102	1058	1206	1225	13605
新規入所者	7	1	5	7	4	3	3	10	4	2	5	9	60
退所人数	0	0	0	3	2	3	1	1	0	3	4	15	32
利用率	85%	82%	100%	94%	92%	92%	85%	104%	97%	93%	106%	93%	94%

3) 支給決定市町村別利用者数

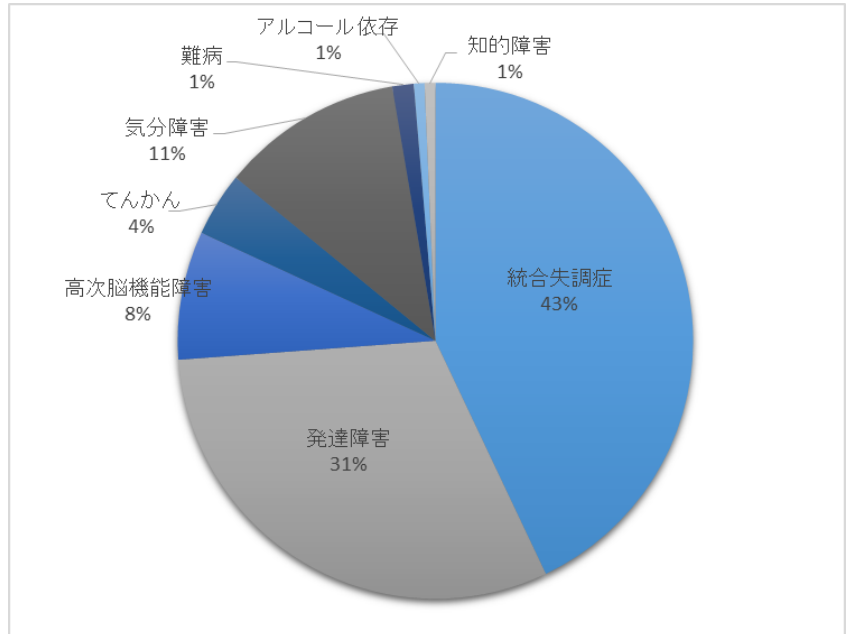
住所	利用者数
相模原市南区	72人
相模原中央区	36人
相模原市緑区	7人
町田市	10人
座間市	10人
横浜市	6人
大和市	3人
厚木市	3人
伊勢原市	1人
愛川町	1人
合計	149人



4) 利用者病名

診断名	利用者数
統合失調症	64
発達障害	46
高次脳機能障害	12
気分障害	17
てんかん	6
難病	2
アルコール依存	1
知的障害	1
合計	149

※自己申告による



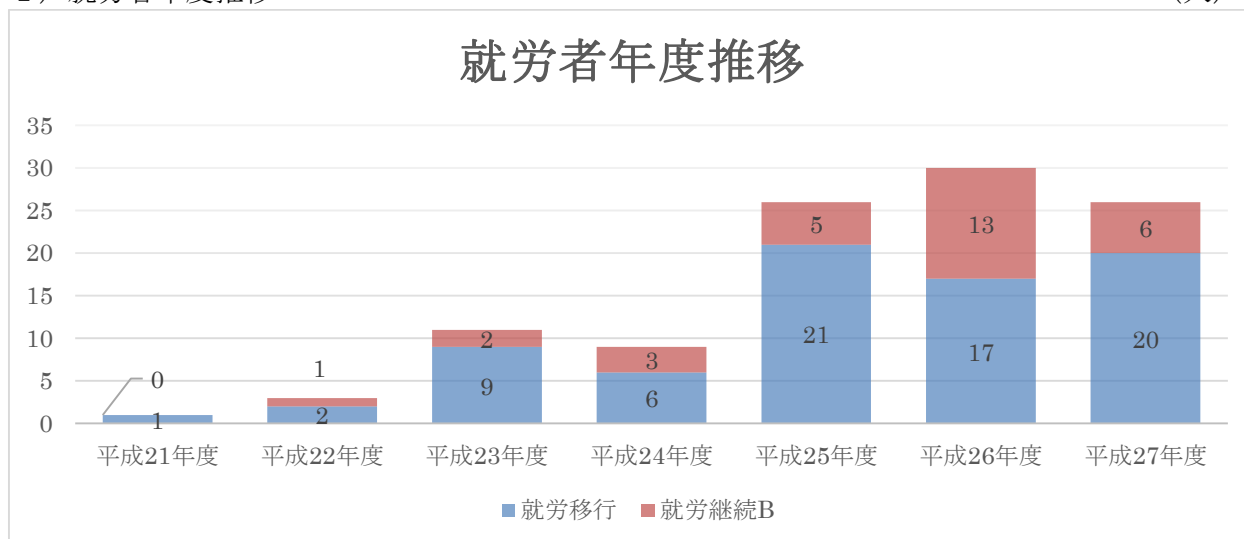
4 就労状況

今年度は就労移行支援事業から 20 名、就労継続 B 型事業から 6 名の方が就労しました。

また、過去の就労者の定着率を見たところ約 4 割の人が離職していました。しかしその後支援を受けて再就労した人が離職者の約 6 割でした。職場定着支援を含め、就労後も引き続き継続した支援が必要でした。

1) 就労者年度推移

(人)



2) 平成27年度 就労者状況

就労移行 20 名 就労継続 B 事業 6 名 合計 26 名

①事業サービス別 内訳

就労移行支援事業 20 名

	利用者	市町村	就労開始年月日	退社年月	業種	診断
1	A	相模原	2015/5/7	継続中	運搬・清掃・包装等の職業	発達障害
2	B	相模原	2015/5/21	継続中	生産工程の職業	発達障害
3	C	相模原	2015/5/25	2015/6/23	運搬・清掃・包装等の職業	統合失調症
4	D	相模原	2015/6/8	継続中	事務的職業	うつ病
5	E	相模原	2015/6/22	継続中	販売の職業	統合失調症
6	F	横浜市緑区	2015/7/1	継続中	サービスの職業	うつ病
7	G	厚木市	2015/7/21	2015/7/22	サービスの職業	統合失調症
8	H	相模原市	2015/8/14	2016/1/31	サービスの職業	知的障害

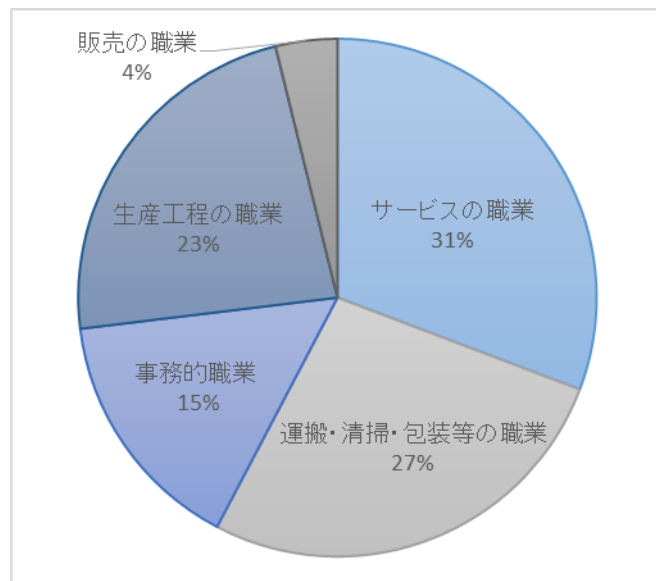
9	I	相模原市	2015/9/1	継続中	サービスの職業	統合失調症
10	J	座間市	2015/9/10	継続中	サービスの職業	躁うつ病
11	K	座間市	2015/9/17	継続中	サービスの職業	統合失調症
12	L	座間市	2015/9/17	継続中	サービスの職業	統合失調症
13	M	相模原市	2015/9/17	継続中	事務的職業	統合失調症
14	N	相模原市	2015/10/14	2015/11/30	運搬・清掃・包装等の職業	高次脳機能障害
15	O	相模原市	2015/10/25	2016/1/13	生産工程の職業	発達障害
16	P	相模原市	2015/12/1	継続中	運搬・清掃・包装等の職業	高次脳機能障害
17	Q	相模原市	2015/12/1	継続中	事務的職業	社会不安障害
18	R	相模原市	2015/12/10	継続中	生産工程の職業	不眠症 うつ病
19	S	相模原市	2016/2/1	継続中	生産工程の職業	統合失調症
20	T	相模原市	2016/3/22	継続中	運搬・清掃・包装等の職業	発達障害

就労継続 B 型事業 6 名

	利用者	市町村	就労開始年月日	退社年月	業種	診断
1	A	相模原	2015/4/24	2015/6/10	サービスの職業	統合失調症
2	B	相模原市	2015/8/3	継続中	事務的職業	発達障害
3	C	相模原市	2015/9/7	継続中	運搬・清掃・包装等の職業	統合失調症
4	D	相模原市	2015/11/2	継続中	運搬・清掃・包装等の職業	統合失調症
5	E	相模原市	2015/10/25	継続中	生産工程の職業	発達障害
6	F	横浜市	2015/11/30	継続中	生産工程の職業	発達障害

②就労者業種内訳

業種	利用者数
建設・採掘の職業	
サービスの職業	8
運搬・清掃・包装等の職業	7
卸売業・小売業	
事務的職業	4
生産工程の職業	6
専門的・技術的職業	
販売の職業	1
輸送・機械運転の職業	
合計	26



IV 各事業の状況

1 就労移行支援事業 あみ：定員20人

障害特性を把握し積極的に就労支援を行った結果、20名の利用者が就労できました。利用率も増加して、108%でした。

就労移行支援事業利用状況（あみ）

（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者数	371	353	464	422	410	394	479	448	436	432	502	520	5231
新規入所者	0	1	3	4	3	1	3	6	2	2	3	4	32
退所人数	0	0	0	2	0	2	0	0	0	1	2	11	18
利用率	88%	88%	110%	96%	98%	104%	109%	124%	115%	114%	132%	118%	108%

2 就労継続支援B型事業 あみ：定員30人

障害特性に合ったきめ細かな支援を行い、また利用者の働きたいという気持ちに応え、就労に必要な知識及び能力の向上のための支援を行いました。その結果6名の方が就労できました。

就労継続支援B型事業利用状況（あみ）

（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者数	528	465	610	642	564	497	456	504	498	467	546	539	6316
新規入所者	7	0	2	1	1	2	0	4	1	0	2	3	23
退所人数	0	0	0	1	2	1	1	1	0	2	2	2	12
利用率	84%	78%	97%	97%	90%	87%	69%	93%	87%	82%	96%	82%	87%

3 生活介護事業 あみ：定員10人

障害特性から活動に制約がありますが、利用者にあった生産活動を安全に配慮して提供しました。

生活介護事業利用状況（あみ）

（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者数	178	168	186	178	181	158	192	166	168	159	158	166	2058
新規入所者	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	2	5
退所人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
利用率	85%	84%	89%	81%	86%	83%	87%	92%	88%	84%	83%	75%	85%

※ 利用率は、延べ利用者数÷（定員×開所日数）

V 共同生活援助事業・短期入所

1 コーポさんふらわー 定員11名（サテライト型2名を含む）

月1回、定例ミーティングを行い、利用者の自立のために生活上のルール等の取り決めを行いました。またお互いについて理解し認め合える場となっていました。

1) 共同生活援助事業 月別利用者延べ人数

（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
入居者数	10名	10名	10名	10名	10名	10名	10名	9名	9名	9名	11名	11名	
区分1	62	62	93	92	91	92	93	93	59	60	90	90	977
区分2	124	124	93	92	93	93	93	93	143	165	127	127	1367
区分3	24	15	27	29	27	30	33	22	0	0	23	22	252
区分4	43	43	55	54	55	57	56	55	52	53	58	54	635
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	16	39
合計	253	244	268	267	266	272	275	263	254	278	321	309	3270

※ 入居者数は各月1日現在の状況

2) 入退去の状況

	人数	内訳
退居者	2	他施設 (1) 病状悪化 (1)
入居者	3	家族関係調整・自立生活の訓練・長期入院からの地域移行支援事業

3) 年間・月間・週間行事

年間行事	月	行事
	8月	相模緑風園夏祭りへの参加 さんふらわー納涼祭
	11月	日帰り旅行 (リス園・薬師池公園)
	12月	クリスマス会
	3月	ひな祭り (食事会)
月間行事	お楽しみ食事会 (第3木曜日・夕食)	
隔月間行事	健康講座「めぞそう、健康生活!!」	
週間行事	お楽しみ会 (カラオケ等 水曜日夕食後)	
	歩こう歩こうの会	
	ヨガ教室 (木曜日 16:30~17:00)	
不定期	パソコン教室	
定期	防災訓練 年2回実施	

2 短期入所利用状況及 定員1名

利用希望者が多く、全ての希望者の期待には応じられませんでした。
また、関係機関から虐待禁止法による対応を依頼され、長期間の利用となっていました。

1) 利用状況及び利用目的 利用者延べ7人

利用者	利用回数又は期間	利用目的
A	1か月	家族関係調整・休養
B	1回	家族関係調整・自立のため
C	5回	家族関係調整・自立のため
D	長期 (虐待対応)	同居人からの緊急避難

E	6回	家族関係調整・自立のため
F	1回	自立のため
G	長期（虐待対応）	家族関係調整・自立のため

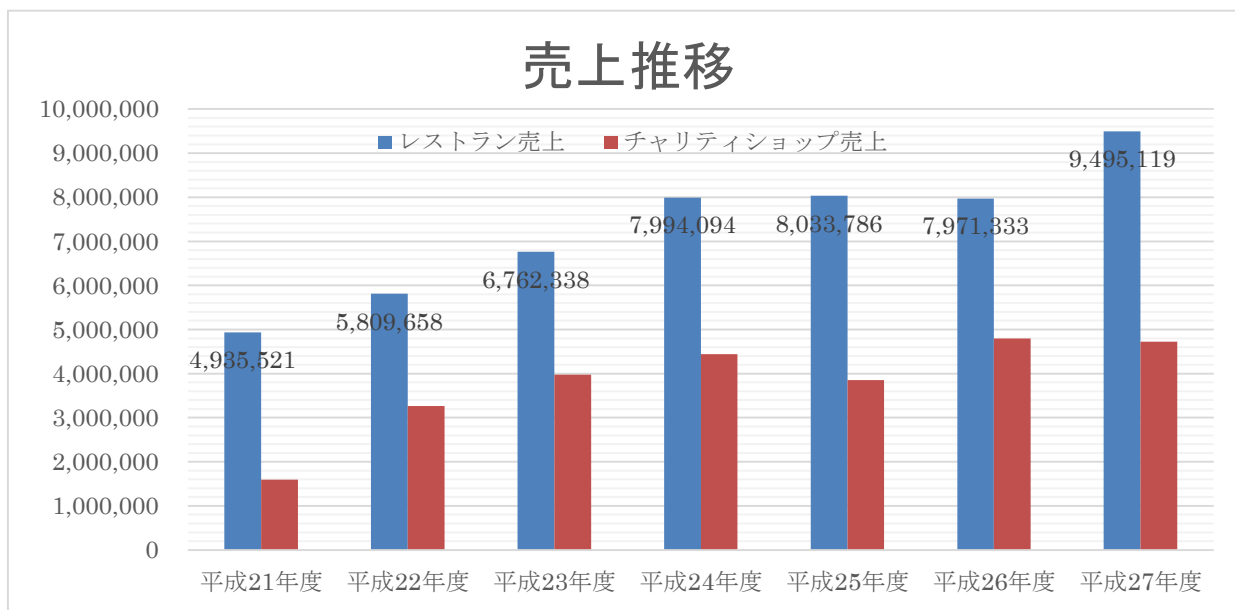
VI 就労事業報告

1 就労収入

レストラン（キッチン・フローア）は就労する利用者が多く、入れ替わりも多いですが多数のお客に対応できるように、作業現場を構造化するなど働きやすい環境を整え工夫しました。

チャリティショップの売り上げもおおく、またリサイクル品の寄付件数も3,370件と増加しました。本年度もセール等の販売促進企画が定着し、毎回多くのお客さまに賑わっていました。

1) レストラン・チャリティショップ年度別売り上げ推移 (円)



2) 年度別 寄付件数 (件)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年	平成27年度
寄付件数	289	1,450	1,792	1,903	2,532	3,250
引き取り数	8	38	49	29	46	120
合計	297	1,488	1,841	1,932	2,578	3,370

2 工賃支払い状況

レストランでは、見学を兼ねた団体客が多かったことや、偶数月に開催するセールが定着して顧客を確保でき、売り上げが伸びたことで工賃はアップしていました。しかし利用者数も増えているので大幅な伸びにはなりませんでした。

1) 工賃年推移

(円)

	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
工賃支給額総額 (円)	2,844,893	4,528,645	4,872,011	6,113,950	5,453,366	6,345,106	7,520,481
平均時給 (円)	213	168	171	179	152	166	179

2) 工賃月別

(円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/ 平均
総 支 給 額	施設全体	603,653	481,060	689,908	603,172	530,289	481,436	662,824	629,548	781,438	542,456	729,177	785,520	7,520,481
	就労移行	256,503	224,398	337,819	265,864	237,377	243,311	339,290	333,991	399,912	309,410	380,673	417,904	3,746,452
	就労継続B	273,920	195,348	271,921	261,408	227,529	183,847	240,136	219,268	284,247	170,118	270,401	278,934	2,877,077
	生活介護	73,230	61,314	80,168	75,900	65,383	54,278	83,398	76,289	97,279	62,928	78,103	88,682	896,952
平 均 時 給	施設全体	184	163	173	163	153	153	184	183	235	163	193	203	179
	就労移行	184	164	174	164	153	154	185	184	236	164	194	204	180
	就労継続B	182	161	171	161	151	151	181	181	231	161	191	202	177
	生活介護	182	162	172	161	152	152	182	181	232	162	192	202	178

Ⅶ 職員研修

教育の3本柱として「法人職員としての心構えや、接遇」が共通の土台としてあり、「相談支援・コーチング・介護等の知識」の力を伸ばす教育、この他「訓練環境を整え利用者の力を引き出すスキルを獲得する」を柱としています。

利用者支援の取り組みについて、昨年度に引き続き、精神障害者リハビリテーション学会に参加し、「離職者への継続支援の効果」として発表しました。

1) 職員研修状況

日時	研修内容	参加職員数
4月23日	知って得する！障害福祉制度の基礎	1名
6月18日	精神障害者リハビリテーション学会 抄録	全員（施設内）
6月18日	個人情報保護・虐待防止について（新人職員）	2名
6月30日	福祉施設づくりセミナー	1名
7月30日	食品包装と食品加工の管理について	1名
8月4日	「頼み上手」になるための秘訣	5名
8月21・22日	リカバリーフォーラム2015	2名
9月3日	働けない子どものライフプランを考える	1名
9月17日	リカバリーフォーラム2015 学びの共有	全員（施設内）
10月8日	統合失調患者への就労支援の取り組み	8名
10月22日	生活保護・年金について	1名
11月25日	施設見学会 精神障害者支援機関ネットワーク	2名
11月25日	神奈川県サービス管理責任者研修	2名
11月25日	葛飾区自立支援協議会 グループスーパーヴィジョンを学ぶ	1名
12月14日	第23回精神障害者リハビリテーション学会 （高知大会）発表 「離職者への継続支援の効果」	5名
12月16日	精神障害者ホームヘルパー研修事業	1名
1月21日	医療観察法	8名
1月21日	世話人研修 虐待禁止法等	2名
2月18日	退院後生活環境指導員及び地域援助事業者研修	2名
2月9日	相模原市における相談支援を学ぶ	1名
2月24日	座間市民こころのバリアフリー	2名
2月25日	これからの難病支援を考える	1名
2月26日	個人情報保護・虐待防止について（世話人）	2名

Ⅷ 他機関との連携及び研修・見学者等

1) 連携状況等

(件)

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所相談で来所	1	2	3		1	1	6	2		8		3	27
障害者支援センター		1	1		1		2	2		1		1	9
ハローワーク			1				2			5			8
その他	1	1	1			1	2			2		2	10
医療機関との連携 (通院同行・会議)	1	1	1			1	2					1	7
支援者会議	3	3	1	4		1	2	3	1	2	1	3	24
その他		1	3	5	4	2		1	1		2		19
合計													77

2) 見学・研修・実習生受け入れ状況

年月日	目的	ご所属等	人数
4月9日	見学	高校教諭	2名
5月27日	研修	民生委員	1名
6月1日	実習	大学実習生	1名
6月9日	研修	相模原市現任教育研修	12名
7月13日	見学	家族会(平塚市)	17名
〃	実習	大学実習生	1名
7月15日	見学	養護学校教諭	2名
〃	見学	医療機関	2名
7月31日	見学	児童発達障害支援センター	2名
8月18日	見学	相模原市副市長他	3名
8月20日	研修	医療機関	1名
8月24日	研修	大学教員	1名
9月3日	見学	支援機関職員	3名
9月24日	見学	支援学校保護者	2名
11月4日	実習	大学実習生	1名
12月16日	見学	支援機関	12名
平成28年1月15日	見学	養護学校教諭	2名
1月14日	見学	医療機関	14名
1月26日	実習	大学実習生	1名

1月27日	見学	養護学校教諭	2名
2月24日～3月18日	実習	大学 実習生	1名
3月10日	研修	精神保健ボランティア 実習	2名
3月14日	見学	支援機関職員	6名
3月16日	研修	精神保健ボランティア 実習	2名

IX 相談支援事業

相談支援事業は平成27年度末をもって暫定プランやセルフプランも含めたサービス利用計画の作成率の100%を目指し、全国的に取り組みが進められました。当事業所でも増加する相談件数に加え、対応に労力のかかるケースも増えてきました。より効率的に業務を遂行するため事務処理などのサポートを行い、相談員が本来の業務に関われるようにしました。

<事業実績>

平成27年度における事業実績は以下のとおりです。

担当件数	モニタリング回数	他の社会資源につながった件数
201件	402回	39件

また平成27年12月より、長期入院患者の退院と地域生活を支援する地域移行支援・地域定着支援の事業指定を得て、平成27年度は1件の実績となりました。